

# 論 点 等 整 理 シ ー ト

事業番号：0066

部 局 名	法務省入国管理局		
政 策 ・ 施 策 名	出入国の公正な管理		
事 業 名	外国人の出入国情報の管理		
予 算 額	平成25年度	平成26年度	
	3,109 百万円	3,205 百万円	

**【論点等】**

○ 「外国人の出入国情報の管理」事業は、出入国審査、在留審査、退去強制手続及び難民認定手続における申請内容、審査記録、処分結果等に関する情報の保管・管理をコンピュータ化することにより、手続を的確かつ迅速に処理し、ひいては出入国管理行政の適正な運営を確保することを目的としており、そのためには、外国人の出入国情報等を管理する「外国人出入国情報システム」を24時間365日運用する必要がある、その運用を適切に支援することが求められている。

現行の「外国人出入国情報システム」は、平成24年度に運用を開始し、3年目に入っているが、導入当初は障害が多発したものの、現在は安定した稼働状況にある。

しかしながら、運用支援に係る契約額については導入当初と変わらず、ほぼ同額で推移しているところである。

→ 個々の作業内容の実績等を精査することで、改善すべき点がないか、あるとすればどういった点が考えられるか。

○ 「外国人出入国情報システム」の運用支援は、導入から開発事業者である(株)日立製作所が行っている。

→ 一般競争入札は実施しているものの、一社応札となっており、さらに落札率が99.2%と高率であり、競争原理が働いていないのではとの懸念がある。

→ 仕様書等を見直すことにより、経費の節減は可能か。

→ 機器の借入れについては、複数年契約を実施している一方、運用支援は単年度契約であることから、運用支援を複数年契約を実施することで、新たな業者の参入を促すことは可能か。

○ また、インテリジェンス機能の強化(保有情報の一層の有効活用)について、取り組む点がないか、あるとすればどういった点が考えられるか。